

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

【開催日時】 令和7年6月13日（金） 15:30～16:30

【開催場所】 神奈川県立平塚湘風高等学校 応接室

【出席者（欠席者）】

～学校運営協議会委員～

本校PTA会長	伊沢 光洋 様	(欠席)
湘北短期大学准教授	小笠原大輔 様	(欠席)
学校法人鶴嶺学園校長	細田 俊哉 様	
サンレジデンス湘南施設長	鈴木 剛 様	
平塚市立神田公民館長	四宮 憲次 様	
平塚市立横内中学校長	木村 一彦 様	
田村地区自治連合会長	野島 健二 様	

～本校教職員～

校長	小松 誉
副校長	萩原 益弘
教頭	諏訪部泰斗
事務長	清水 由也
総括教諭（学習支援）	佐藤ひとみ
総括教諭（キャリア支援）	室屋 彰彦
総括教諭（管理運営）	近藤 洋平
総括教諭（活動支援）	今井 庸平
教諭（生徒支援）	中田 良紀
総括教諭（研究開発）	由元 美保

【議事録】

（1）校長挨拶

- 4月1日に着任し、昨年度までは高浜高校で副校長を務めており、ある程度湘風高校のことも承知している。
- 湘風高校が地域コミュニティの一翼を担いたい。
- 各学年のクラス数と生徒数や行事等の学校状況を説明
- 生徒指導も少しあるが、大きな事件・事故はなく、今のところ順調に進んでいる。

（2）学校運営協議委員の委嘱及び紹介

～細田氏～

- ・ 3月までは県立高校の校長を務めていた。
- ・ 以前、こちらの副校長を務めていたこともあり、当時は学校の創成期で、ぶれない指導をしていた記憶がある。
- ・ 立場が変わったが、これも何かのご縁と思っている。

～鈴木氏～

- ・ 湘風高校向かいの高齢者施設の施設長を務めている。
- ・ 住んでいる人も通いの人もあり、相談機能もある。
- ・ コロナ禍で学校との交流が途絶えてしまったが、今後また交流の機会を増やしていきたい。

～四宮氏～

- ・ 来週、神田公民館の草取りをお願いしている。
- ・ 七夕の飾りつけも時々、湘風の生徒に手伝ってもらっている。
- ・ 今年度が6年目で最後になる。

～木村氏～

- ・ 横内中は2年目になる。
- ・ 前任は金旭中学校に2年間おり、卒業生が多くお世話になっている。

～野島氏～

- ・ 地域の活動の中で、高校とも連携を取っていきたい。

(3) 本校職員自己紹介

(学校運営協議会委員の自己紹介後に、本校教職員も順次自己紹介)

(4) 今年度の運営方針について

①学校教育計画について（校長）

- ・ 令和6年度～9年度までの計画を昨年度末に立てた。
- ・ 小学校段階からつまずきがあったり、家庭環境に課題のある生徒も多く在籍している。
- ・ 生徒が卒業後に自立するためには何を学び、何を身につけなければいけないのかを考えている。
- ・ 本校は確かな学力育成推進校（4期目）に指定されている。
- ・ まず、学びなおしをきちんとして、そこからスタートする。
- ・ また、生活習慣も各生徒が身に付けるよう生徒指導も力を入れている。
- ・ 学びなおしも生活習慣も、どちらも人と人とのコミュニケーションからスタートする。
- ・ 教育課題が多様化、複雑化していて、学校だけでは解決が難しい。

- ・ 豊かな学校生活が送れるよう皆さんの力もお借りしたい。

②令和7年度 学校目標について（各 GL）

～学習支援 G（佐藤）～

- ・ 単位制ということで、学年制との違いがあるが、完全な学年制ではなく、中間的な立ち位置でやっている。
- ・ 新カリキュラムの後半も今までの分析を生かしてマイナーチェンジをおこなってやっていきたい。

～キャリア支援 G（室屋）～

- ・ 学校要覧の 26～28 ページに卒業生の進路状況が記載されている。
- ・ 大学に進学する生徒が増えてきており、昨年度は AO で早稲田大学に進学している生徒もいる。
- ・ 教員はきめ細かに指導しているが、残念ながら、進路決まらずに卒業している生徒もいる。
- ・ 職員が生徒の多様な進路選択に対応・指導することに対して負担が大きいことが懸念事項である。
- ・ 今年度はスタディサプリも導入して、どこでつまずいているかを把握し、各自で学校以外でも勉強できるような形を作っている。
- ・ 就職と進学について、生徒がどう考えているか引き出しながらやっていきたい。

～管理運営 G（近藤）～

- ・ 生徒が減ってきていて、大掃除をできなくなってきたが、日頃から少しづつ清掃をするように進めている。
- ・ 環境委員が、神田公民館の草取りを行うことになっている。
- ・ 物品が古くなっているので、少しづつ更新している。
- ・ コロナ禍ですべて止まってしまった避難訓練、DIG 訓練、救助袋の確認を昨年度から進めている。
- ・ PTA 活動について、昨今は解散しているところもあるが、参加したくなるように、挨拶運動やその後の授業見学等の試みを行っている。
- ・ 定例会をオンライン（Meet）で行うなど、委員が参加しやすいよう工夫して運営している。

～活動支援 G（今井）～

- ・ 昨年度、学校説明会において部活動紹介を行った。その成果として入学者も増えた。
- ・ 体育祭は今年度から生徒になるべく任せるという形態に変更しようとしている。

～生徒支援 G（中田）～

- ・ 服装指導を昨年度から徹底して指導するよう取り組んでいる。
- ・ どうしても学校の外の部分は見えないが、校内では徹底しようということで、シャツをしまう、ネクタイを締めるなどの当たり前なことから始めている。
- ・ ルールが多いので、教員も生徒も混乱しないように、改善に向けて動いている。
- ・ 16期生（令和7年3月卒業生）もだいだい30名近くが退学しているが、中学生のとき不登校だった生徒が多く入学している。

～研究開発 G（由元）～

- ・ 本校が指定を受けている確かな学力育成推進をメインで担っている。
- ・ スタディサプリや電子黒板を活用し、授業改善に向けての研修や、互いの授業見学をしながら試行錯誤している。
- ・ 湘風高校が生まれ変わるために、各教科や各グループから代表者を集めたプロジェクトチームを作り、昨年度からロードマップを作成して今年度1年目としてスタートした。
- ・ 学校案内のパンフレットも一新した。
- ・ 湘風高校が生まれ変わったと内外にアピールしたい。

③年間行事予定について（近藤）

- ・ 今年度の夏季休業は8月末までとなっている。
- ・ 体育祭は5月、文化祭は10月に計画。
- ・ 昨年度の修学旅行は神戸で震災学習を行ったが、今年度は沖縄で平和学習を行う。

（5）委員からの質問・意見

～野島氏～ 特色ある活動の中のボランティア活動は具体的にどのような活動をしているか。

- 近藤 公民館の草むしりとして委員会活動に加えて、任意で20名程度参加している。
- 今井 貴峯荘の夏祭りに手伝いとして参加した。
- 野島氏 今後、地域の祭りや防災訓練等で高齢化進んでいるので、手伝ってもらえると助かる。
- 副校長 教員は入れ替わりが早く、以前の活動を知らない教員も多いため、委員の方からも色々教えていただきたい。

～細田氏～ 進路は就職よりも進学が増えてきつつあるのか

- 室屋 今年度60名くらい就職を選択している。年によって、就職が多い年もあれば、進学が多い年もある。

～鈴木氏～ 施設でインターンの受け入れを他校から行ったが、湘風高校ではどのくらいインターンをしているのか

→室屋 保育・看護体験は昨年度2～3名いたが、インターンはいなかつた。今年度は事前周知の結果、40名程度まで増えた。

→校長 保育体験に行く生徒もいるが、民間企業に行く生徒もいる。その後の進路を考えて、きちんとマッチングするように指導した結果、一気に増えた。

～四宮氏～ 部活は何部の活動が盛んに行われているのか。

→今井 運動部だとバスケ部やサッカー部において部員が増えていて、パワーリフティング部は全国に行く。部員数だと軽音楽部が40名超えている。

→四宮氏 私立高校の出身だが、部活動が強くなるにつれて、学校の質も上がっていったように感じる。

（6）その他、事務連絡（校長）

- ・ 昨年度は運営協議会を年2回開催していたが、それだと次回が年度末になってしまうため、できれば文化祭の時に意見を聞かせていただき、年度末には評価をしてもらいたいと管理職としては考えている。
- ・ 着任して、2か月だが、今までの学校と比べ、湘風高校が一番組織的に動いていると感じている。
- ・ 先生方が定員割れを改善したいとロードマップを作成し、生徒支援も家庭と連携しながら、丁寧に行っている。
- ・ 音楽の授業などでも自分自身笑みが出るくらい一生懸命歌っている生徒がいる。ほかにも授業中に挙手する生徒が増えるなど、授業に主体的に取り組む生徒が増えるよう今後も改善を続けていきたいと考えている。
- ・ ここに来てよかったですと生徒に思ってもらえる、地域や保護者から応援されるような高校にしたい。